

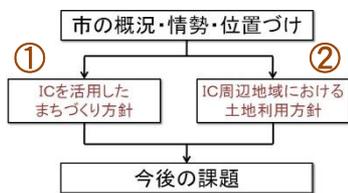
地域のまちづくり検討

事例紹介

桜川筑西IC周辺都市整備構想の検討経緯 ①

○桜川筑西IC周辺都市整備構想の概要

桜川市では、IC開設を契機として、桜川筑西ICのインパクトを活用したまちづくりを進め、この効果を今後の桜川市全体に波及させていくため、総合的な地域振興のための方針として「桜川筑西IC周辺都市整備構想」を策定(平成21年4月)。



図一 桜川筑西IC周辺都市整備構想の構成

出典：茨城県桜川市HP <http://www.city.sakuragawa.lg.jp/index.php?code=1446>

①ICを活用したまちづくり方針について

基本方針： ICを活用して、ヒト・モノを桜川市に呼び込み、地域の活性化に役立てる。

基本方向

- ① 新たな企業や産業立地の誘導
- ② 既存資源や産業の活用による交流人口の誘導
- ③ 新たな交流機能の導入検討
- ④ 広域との連携の検討

②IC周辺地域の位置づけおよび土地利用方針について

ICを活用したまちづくり方針を実現させるために、IC周辺地域の土地利用方針について定めました。IC周辺地域については、本構想について先導的かつ重点的に施策を展開する地域として位置づけます。

- ① 交通利便性の高い位置特性の活用
- ② 拠点形成の促進
- ③ 市全体へ波及させる役割を担う地域

■桜川市総合計画と桜川筑西IC周辺都市整備構想の関係

桜川市第一次総合計画

基本構想

前期基本計画

(桜川未来プロジェクト)
歴史と未来のまちづくりプロジェクト

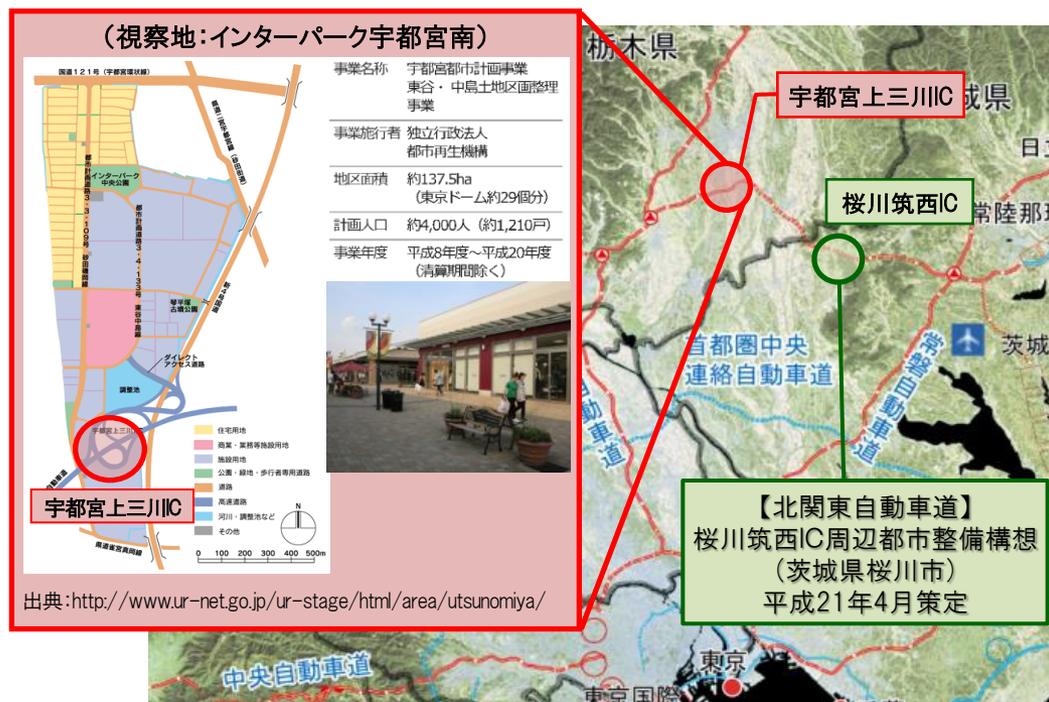
(重点事業)
インターチェンジ周辺整備検討事業

桜川筑西IC周辺都市整備構想

(インターチェンジ周辺整備の方向性の明確化)

出典：茨城県桜川市HP

http://www.city.sakuragawa.lg.jp/data/doc/1280474887_doc_23.pdf



出典：地図は国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所パンフレットを加工

桜川筑西IC周辺都市整備構想の検討経緯 ②

■関係部局や審議会との調整、及びパブリックコメントに基づいて構想を作成。平成20年度の1カ年で構想を策定

桜川筑西IC周辺都市整備構想の検討経緯

年月日	内容
平成20年(2008年)	5月2日(金) 桜川未来プロジェクトの会議開催(昨年度(平成19年度))までのIC周辺整備検討事業の進捗について
	6月12日(木) 桜川未来プロジェクトの会議開催(平成20年度内の都市整備構想の策定を決定)
	6月13日(金) 茨城県土木部都市局都市計画課と協議
	6月24日(火) 庁議に報告(平成20年度内の都市整備構想の策定を報告)
	6月30日(月) 桜川市都市計画審議会に諮問(都市構想検討専門委員会の設置について諮問、都市整備構想の検討について諮問)
	7月9日(水) 桜川市議会建設経済常任委員会に報告(都市整備構想について報告・意見交換)
	7月14日(月) 桜川市議会全員協議会に報告(都市整備構想について報告・協議)
	7月23日(水) 先進地視察 ・視察地:インターパーク宇都宮南(北関東自動車道 宇都宮上三川IC/栃木県) ・参加者:都市計画審議会委員・専門委員・議会議員・副市長・関係課職員
	8月12日(火) 第1回 桜川市都市計画審議会 都市構想検討専門委員会 (委員の委嘱、諮問内容の報告) 都市政策に関する講演会「都市計画と地域振興」 ・講師:野中勝利 筑波大学准教授 ・参加者:都市計画審議会委員・専門委員・市議会議員(建設経済常任委員会)・副市長・関係課職員
	9月3日(水) 第2回 桜川市都市計画審議会 都市構想検討専門委員会 (都市整備構想のIC周辺土地利用方針(素案)の検討)
	9月17日(水) 桜川市議会建設経済常任委員会に報告(都市整備構想のIC周辺土地利用方針(素案)について報告・協議)
	9月24日(金) 桜川未来プロジェクトの会議開催(都市整備構想の原案作成)
	9月26日(金) 第3回 桜川市都市計画審議会 都市構想検討専門委員会 (都市整備構想のIC周辺土地利用方針の審議、都市整備構想のIC活用まちづくり方針(素案)の検討、都市整備構想[骨子]の検討)
	12月1日(金) 第4回 桜川市都市計画審議会 都市構想検討専門委員会 (全体内容の検討、都市整備構想[骨子]の審議)
	12月22日(月) 桜川市都市計画審議会 都市構想検討専門委員会から答申(都市整備構想[骨子]として答申)
	12月24日(水) 庁議に報告(都市整備構想[骨子]について報告・承認、パブリックコメントの実施について報告)
平成21年(2009年)	1月7日(水)~2月6日(金) パブリックコメントの実施
	2月13日(金) 桜川未来プロジェクトの会議開催(都市整備構想[骨子]の報告、関係課と今後の進め方について協議)
	2月19日(木) 庁議に報告(都市整備構想[骨子]について庁議決定)
	2月23日(月) 桜川市都市計画審議会に報告(都市構想検討専門委員会の解散、都市整備構想[骨子]について報告・承認)
	2月27日(金) 桜川市議会全員協議会に報告(都市整備構想[骨子]について報告・承認)

道路整備効果事例の紹介(環境・景観)

■地域との協働により、「郷土種の保全」と「法面を保護」を実施し、自然環境を復元した事例

事例：圏央道

地域との協働による環境づくり(どんぐり拾いイベントの開催)

のり面に地域性苗木を植樹するまでの流れ

①その地域に自生する種子の採取を行います。



②採取した種は、袋につめてトレイで発芽させます。



③発芽したものをポット等に入れ、ビニールハウス内で育て、苗木にします。



【地域性苗木の生育例(八王子JCT付近)】



植樹後 11年目ののり面



植樹前ののり面

④育てた苗木は、種を採取した箇所の道路の法面などですくすくと育ちます。



地域の皆様と一緒に植樹

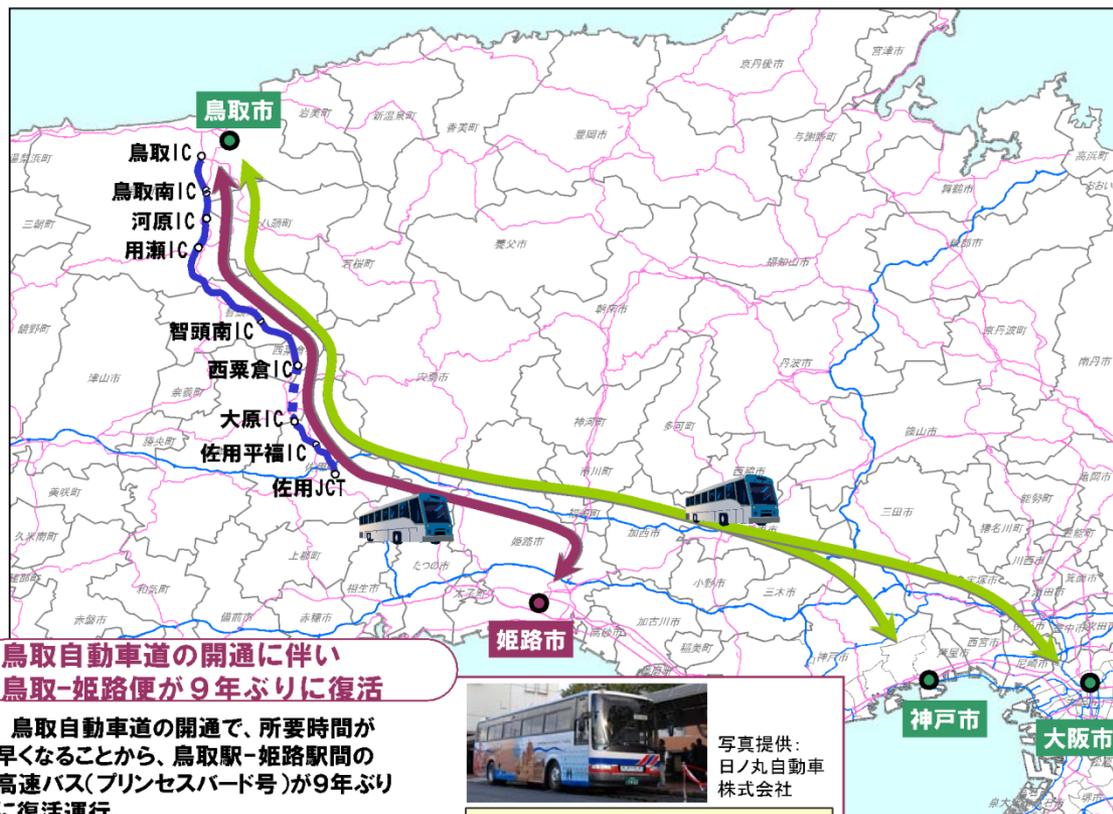
道路整備効果事例の紹介(くらし)

■道路開通の進捗による高速バスの利便性向上※、住民生活やビジネス、観光が便利になった事例

※:所要時間の短縮、運行便数の増便、利用者数の増加

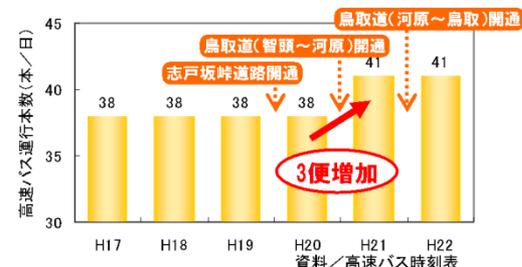
事例：鳥取自動車道

- 鳥取自動車道の開通が進むにつれ**高速バスの利便性が向上**し、沿線住民の生活やビジネス、観光が便利になっています。
- 鳥取～神戸・大阪便では、**所要時間が20分短縮**、**運行便数が3便増加**、**利用者数が年間9,000人増加**しました。
- さらに、**鳥取～姫路間の高速バスが9年ぶりに復活**しました。

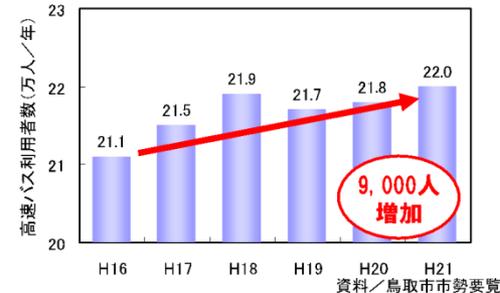


※資料/高速バス時刻表 ※ルートは国道53号を通過するルート

鳥取～神戸・大阪間の高速バス運行本数



鳥取～神戸・大阪間の高速バス利用客数



※資料中の便数及び利用客数は、往復の便数及び利用客数

鳥取自動車道の開通に伴い 鳥取-姫路便が9年ぶりに復活

鳥取自動車道の開通で、所要時間が早くなることから、鳥取駅-姫路駅間の高速バス(プリンセスバード号)が9年ぶりに復活運行。

県内全線開通の翌日H22.3.29から日8便を運行。



写真提供:
日ノ丸自動車
株式会社

利用者からは好評の声
以前も利用していて便利でした。復活して助かっています。
-H22バス事業者アンケート

道路整備効果事例の紹介 (地域活性化)

■道の駅の利用客が増え、地域が活性化した事例

事例：四国横断自動車道

- ・四国横断自動車道の供用(宇和島北IC～西予宇和IC)は、南予地域の物流を支え、経済発展に寄与するとともに、災害時のリダンダンシーの観点からも重要な路線。
- ・特に、三間ICに隣接する「道の駅みま」は、来客数が増加し地元特産品の「三間米」の売れ行きが好調。
- ・また、地元高校生の就職先として新たな雇用を生み出しています。



【高齢者の生きがいができました。】
 地元特産品の三間米は開通前に比べて売上が約2倍に増加しました。少し大きですが、高齢の方の出荷者にとっては、生きがいができました。
 (道の駅事業者ヒアリング)



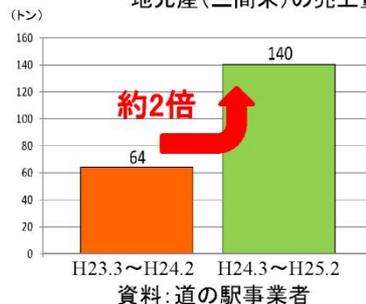
新たな雇用の創出



『道の駅みま』
 母校の高校生と花壇の手入れを行う新入社員

資料：愛媛新聞(H25.5.26) 掲載許可番号：G20130801-01252

地元産(三間米)の売上量の変化 (道の駅:みま)



<三間米>

道路整備効果事例の紹介(観光)

■観光資源や道の駅などの休憩施設との連携を図るための情報提供方法を検討した事例

事例：鳥取自動車道

①地域の課題

- 鳥取自動車道は、無料の高速道路であるが、コスト削減等の観点から**休憩施設等(SA・PA)**が未設置
- 沿線の市町村は、**観光客の素通り**による地域への影響を懸念

②地域の取組

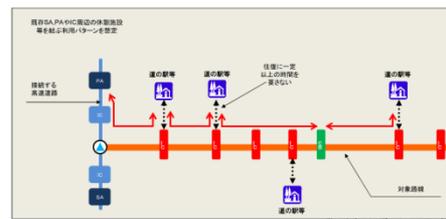
- 高速道路整備に伴う時間短縮効果により、周遊観光が増える事例もあり、地域の観光活性化を図るための「**委員会**」を設立し、沿線市町村の観光資源に関する**情報提供方法を検討**

③取組の成果

- 地域活性化を図っていくための**官民協働**での**地域対策**を実施

◇方策案1：
IC周辺の休憩施設との連携

◇方策案2：
標識等の設置による沿道施設への誘導

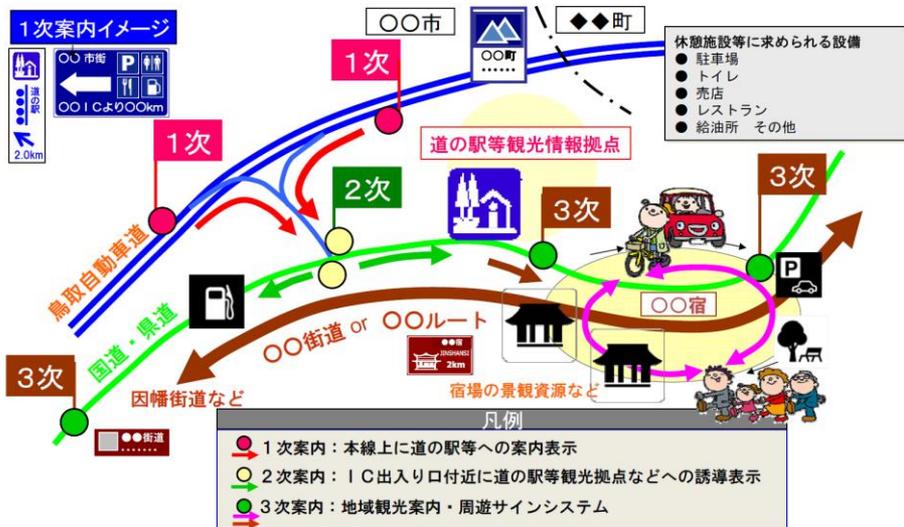


図一IC周辺の休憩施設との連携イメージ



図一道の駅(路外施設)への誘導案内を道路に設置している例(鳥取自動車道)

◇方策案3：
沿線地域との連携によるマップなどの情報ツール整備



図一総合的な案内サインのイメージ

■カーナビ画面



通常の高速道路走行時の画面



鳥取自動車道(新直轄)の走行時画面の改良イメージ(提案)

- ・高速道路走行と同様の表示方法にする。
- ・現道の道の駅を画面右側にも表示する。
- (※道の駅、ガソリンスタンドはもともと画面左地図上に表示)

図一カーナビへの施設表示



図一休憩施設ガイドマップ